



あと一步の向上に向けた取組

函館市立東山小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- 校内研究：言語活動の充実を目指して、組織的に算数科と国語科において授業改善に努める。

2 取組の概要

- (1) 問題解決的な学習の充実を図る。
 - ・知的な好奇心を刺激し解決の意欲が高まる課題提示の工夫
 - ・多様な学習形態の効果的な活用→校内研究との関連を重視した算数科・国語科の授業改善
「思考を促す学習課題」「関わり合いをもたせる支援」「主体的に表現し、学び合う場の設定」
- (2) 言語活動を重視する。
 - ・感じたこと、考えたことを自分の言葉で書いたり話したりすることの重視→ペア、グループ、一斉指導場面等の学習形態の工夫
- (3) チャレンジテストの活用
 - ・過去に学習した内容の確認や教科書以外の問題に触れる経験を豊かにする。
 - ・自発的な取り組みや正誤を自分自身で確かめる経験を豊かにする。

3 成果（○）と課題（●）

- 多様な考えを促す課題設定の工夫により学習の意欲や表現の工夫につながった。
- 多様な学習形態の工夫と活用により、話す・聞く・比較するなどの力の高まりが見られた。
- 子ども同士の認め合い、励まし合いの積み重ねにより、発表への意欲や技能が高まり、伝え合う力の伸長が見られた。
- 学力学習状況調査等からの本校児童の学力定着に係る課題の共有
- 学力向上に係る実態の分析及び具体策を検討するプロジェクトの発足
- 学力向上を目指す全校的、継続的に進める具体的な取組の推進
(意図的、計画的な朝自習の活用、学校と家庭が連携した家庭学習、休業中期間等の補充的学習の取組等の充実)